

### 5. 日本の地下水（「地下水の科学」シリーズ 1）

蔵田延男著  
実業公報社（1962）  
新書判 p.118  
定価 390 円



---

#### 目次

##### I 井戸の歴史

1.手掘り井戸の発達、2.名泉・名井、3.掘り抜きの発達、4.井戸の種類とその特徴

##### II 地下水 そのありかたと開発の現状

1.雨雪の量と地下水、2.地下水のいれもの、3.自由地下水とその利用、4.被圧地下水とその開発

##### III 井戸水の基本的な性質

1.井戸水の量と質、2.井戸の汲みあげ量について

##### IV 地下の水を探る

1.井戸の水位と地下水位、2.地下水の温度、3.地下水の水質、4.地下水の調査

##### V 水を支える地盤

##### VI 日本の代表的な地下水

1.関東平野の地下水、2.富士山麓の地下水

##### VII 遭遇する諸問題

1.千葉県工業用水、2.水を失う川、3.この水脈を涸らすな、4.塩水化する日本、5.宮

---

#### 紹介コメント

著者は、農林省開拓局、開拓研究所、通産省地質調査所にて地下水の調査・研究を行ってきた地下水のオーソリティである。この本では気軽に地下水について知ることができるように当時においては身近であった井戸の話から、地下水のしくみ、日本のいろいろな地域の地下水のようす、更に地下水に関連する問題などを写真や図表を多用して分かりやすく解説した入門書である。出版してからすでに 50 年近く経過しているため内容が古くなっているものはあるが、地下水の基礎的なことを知るには十分な本であり、是非、若い学生さんにも読んでほしい書である。この本は、地質調査所が明治 15 年（1882）に創立してから 80 周年を記念するものとして、「地下の科学」シリーズとして刊行したもので、この本はその最初のものである。発行所はその後、実業公報社からラテイス（発売元 丸善）と変わることになるが、地下水に関係するものとしてはシリーズ 15 に「水井戸のはなし」（村下敏夫著）もあり合わせて読んで頂きたい。